

福島県の歴史シリーズ

〔福島県立博物館催し物コーナー〕



特集展 ふくしま震災遺産保全プロジェクト 「震災遺産を考えるⅡ」

今月号は本年度最後の催し物をご紹介します。福島県立博物館にて開催中の「ふくしま震災遺産保全プロジェクト アウトリーチ事業 震災遺産を考えるⅡ 会津セッション『震災から5年を迎えて』」のプログラム内容、「テーマ展」「ポイント展」などのご案内です。

○『震災から5年を迎えて』のご案内

福島県における東日本大震災には、地震・津波・原子力発電所事故が与えたダメージと、これに対応した救助・避難・支援・除染などの様々な局面があり、この局面ごとにあるいは局面が重なって多量の瓦礫、広域に分布する仮設住宅団地、除染物質の広大な集積など非日常の光景が震災から5年の今も産み出されています。

ふくしま震災遺産保全プロジェクトでは、震災遺産が震災の経験だけではなく、震災前まであった人々の生活や日常を伝える手段になると考え、昨年度からフィールド調査や資料を収集・保全する取り組みを始めました。アウトリーチ事業「震災遺産を考えるⅡ会津セッション」では、プロジェクトのこれまでの活動を皆様で紹介するとともに、震災のカタチを多様な震災遺産と多様な保全のあり方から考える機会として、展示会・対談・シンポジウムを開催します。

●プログラム1 特集展（展示会）「震災遺産を考える ― ガレキから我歴へ」

平成26年度から開始した震災遺産の調査・収集活動とその成果を約100件の収集資料や写真パネルで紹介し、震災の多様性と震災から5年のふくしまを振り返る。

◎会場 福島県立博物館 企画展示室

◎会期 平成28年2月11日（木・祝）～3月21日（月・祝）

◎時間 9時30分～17時（入場は16時30分迄） 観覧料：無料

◎休館日 毎週月曜日 ※3月21日（月・祝）は開館

◎解説会 毎週日曜日 10時30分～・14時～、2月11日（木・祝）10時30分～・14時～
3月21日（月・祝）10時30分～

◎構成 1 あの日・あの時から ―揺れる大地・迫る海・崩壊した「安全」―

2011年3月11日から今日までに発生した出来事を、象徴的な震災遺産から振り返る。

2 「避難」の多様性

一次避難所、「一日だけの避難所」など福島県特有の避難を避難所資料から考える。

3 断絶する「日常」 ―学校・生活・仕事―

震災で断絶する日常・回復しない日常を被災地に残されたままとなった器物から紹介

する。

4 思いがけない「未来」

震災によって意味が変わったもの、新たに生み出されたものから福島県の今の姿を考える。

同時開催 「3Dデジタル震災遺構アーカイブ体験」

3Dポイントクラウドデータとして保存した福島県所在の「震災遺構」を最新技術MRによる3次元バーチャル映像で体験します。

※MR (Mixed Reality、複合現実)：仮想現実と現実世界をリアルタイムで融合させる技術。

◎会場 福島県立博物館 企画展示室内 特設ブース

◎日時 特集展開催日の10時30分～12時、13時30分～15時

- 体験可能人数は午前・午後各20名。午前の部は10時から、午後の部は13時から整理券を配布します。
- お一人当たりの体験時間約5分。
- 機器調整のため体験できない場合もあります。

◎コンテンツ

浪江町請戸地区 (請戸小学校、請戸漁協ほか)・浪江町内避難所・JR 富岡駅跡・富岡町災害対策本部跡 など

◎協力 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

●プログラム2 トークセッション「震災画像・映像アーカイブの可能性」

現場から引き剥がされた画像や映像を「場面 (シーン)」として捉えることへの違和感。時間の流れとともに被災現場が消失し、風土が記憶・過去を失うとき、画像・映像が、その土地の声なき声・目に映らないもの・現実の不安に対する距離感をどう伝えていくのか。画像・映像に何を語らせるべきなのか。

◎会場 福島県立博物館 講堂 (定員200名)

◎日時 2月18日(木) 13時30分～15時 入場：無料 ※申し込み不要・先着順

◎出演 赤坂憲雄 (福島県立博物館館長)、金澤文利 (福島県立博物館主任学芸員)

●プログラム3 シンポジウム「震災遺構を考える ― 震災を伝えるために ―」

福島県における、震災遺構の現地保存の議論は、原子力発電所の事故の影響もあり宮城県や岩手県のように進んでいない。ふくしま震災遺産保全プロジェクトと東北大学は平成26年度から県内の震災遺構の3Dポイントクラウドデータによる保存事業に協力して取り組んでいる。

本シンポジウムでは被災3県の震災遺構の保存についての現状を知り、震災遺構や震災遺産の価値を考え、今後どのように活用して震災を伝えていくことができるか検討する。

◎会場 福島県立博物館 講堂 (定員200名)

◎日時 3月19日(土) 13時～16時 入場：無料 *申し込み不要・先着順

◎次第

- 1 開会あいさつ 赤坂憲雄 (福島県立博物館館長)

- 2 講演（各20分程度） 司会：赤坂憲雄
- 報告1「福島県の震災遺構」
高橋 満（福島県立博物館主任学芸員）
 - 報告2「震災遺構3DデータとMR技術の可能性」
鹿納晴尚氏（東北大学学術資源研究公開センター技術支援員）
 - 報告3「岩手・宮城の震災遺構」
柴山明寛氏（東北大学災害科学国際研究所准教授）
 - 報告4「東日本大震災における復興祈念公園について」
脇坂隆一氏（国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所所長）
- 3 パネルディスカッション
パネリスト：上記報告者4名に加え、三瓶秀文氏（富岡町教育委員会主任学芸員）
- 4 閉会のあいさつ 赤坂憲雄
- 主 催 ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会
共 催 東北大学学術資源研究公開センター・東北大学災害科学国際研究所
東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム
- ふくしま震災遺産保全プロジェクトは「平成27年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」の採択を受けて実施しています。
 - ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会（委員長 赤坂憲雄）
構成団体：相馬中村層群研究会 南相馬市博物館 双葉町歴史民俗資料館 富岡町歴史民俗資料館 いわき市石炭化石館（公財）ふくしま海洋科学館 いわき自然史研究会 福島県立博物館

3月のテーマ展のご案内（テーマ展は常設展料金でご覧いただけます）

- 「建具指物師の仕事（わざ）」—木村徳治展— 会期 3月27日(日)まで 会場：部門「歴史・美術」
ふるさとの考古資料6【飯館村】遺跡探訪 会期 5月8日(日)まで 会場：総合「考古」

3月のポイント展のご案内（ポイント展は常設展料金でご覧いただけます）

- 「石器に用いられた石」 会期：3月13日(日)まで 会場：総合「原始」
「弥生時代の骨角器」 会期：3月13日(日)まで 会場：総合「原始」
「縄文時代の植物利用」 会期：3月13日(日)まで 会場：総合「原始」
「郡役所のお仕事」 会期：3月13日(日)まで 会場：総合「古代」
「むかしの道具—洗濯機とアイロンがけ—」 会期：3月23日(水)まで 会場：総合「民俗」
「会津盆地の土地利用」 会期：3月31日(木)まで 会場：総合「自然と人間」

3月の講座・実演など

- 3月13日(日) ギャラリートーク「展示資料からみる古代のふくしま」 13時30分～14時
会場：総合「古代」 講師 学芸員 荒木 隆
※申込み不要（常設展料金でご覧いただけます）
3月26日(土) 考古学講座「勾玉・ガラス玉を作ろう」 10時～15時

会場：実習室 講師 学芸員 高橋 満

参加料：300円 定員20名 ※要申し込み

3月27日(日) 冬のお楽しみ交流会「サロンド考古学③」 11時～12時

会場：館内レストラン 講師 学芸員 荒木 隆

参加料：800円（ランチBセットの料金税込み） ※申込み不要

館長講座のお知らせ

3月は3月19日(土) 震災遺産を考えるⅡ 会津セッション プログラム3 シンポジウム「震災遺構を考える—震災を伝えるために—」となります。

3月5日(土) 復興のつどい

主な流れ 14時オープニングセレモニー、14時15分開場、～各イベント～、17時20分エンディング、18時終了

主なイベント

ステージ 合唱 大熊町立熊町・大野小学校合唱部 会津若松市立第四中学校合唱部
男声合唱サークル 会津民謡歌手「會凜鶴」唄い・演奏

講 堂 大沼高校演劇部創作劇「千羽の鶴と神隠し」

エントランス あったか甘酒・お鍋のふるまい

エントランス2 ふるさとの模型展示 など

体験学習室 布草履の展示・実演 など

※入場無料・申込み不要

福島県立博物館

● 3月の休館日 7日(月)・14日(月)・22日(火)・28日(月)

● 常設展観覧料 一般・大学生は270円（20名以上の団体の場合210円）

※高校生以下は無料でご覧いただけます。

● 開館時間 9：30～17：00（入館は16：30まで）

※常設展観覧料は学校教育に基づく活動として観覧する場合の大学生及び引率者、公民館等の団体は、事前の申請（3日前）により、常設展の減免措置が受けられます。観覧料免除申請書は、ホームページよりダウンロードできます。

※要申込みの行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始しますが、異なる場合もありますのでお問い合わせください。その他、行事等の詳細に関しましてはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】 〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

TEL：0242（28）6000 FAX：0242（28）5986

Email：netmaster@general-museum.fks.ed.jp

ホームページ <http://www.general-museum.fks.ed.jp>